令和元年９月１３日

６年生保護者　様

佐賀市立神野小学校

校長　　平田　繁正

平成31年度（令和元年度）「全国小・中学校学習状況調査」結果について

　初秋の風のさわやかに渡る季節となりました。保護者の皆様におかれましては日頃より学校の教育活動に対してご理解、ご協力頂き誠にありがとうございます。

　さて、平成31年４月18日に実施された「全国小・中学校学習状況調査」について国の基準に基づく調査結果が８月末に報告されました。つきましては、個票と併せて本校の調査結果と考察についてご報告させていただきます。

**■　調査の内容**

|  |
| --- |
| 教科に関する調査（国語、算数） |
| 平成31年度（令和元年度）より、新学習指導要領の考え方に則して、主として「知識」に関する問題と、主として「活用」に関する問題を一体的に調査されています。出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりです。①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容 |
| 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査 |
| 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関して調査されています。 |

**■調査結果及び考察について**

全国学力・学習状況調査は小学６年生（中学３年生）と限られた学年が対象であり、教科は国語、算数です。さらに、出題は各教科の限られた分野（問題）です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部分」であり「学校教育活動の一側面」であることをご理解の上、ご覧ください。

**■　調査結果及び考察**

**１　国　語**

（１）結　果

全国及び県正答率との比較

４領域のうち３つの領域の正答率が全国平均を上回っています。特に「書くこと」の領域は全国平均を約７ポイント上回っていました。今後もそれぞれの領域で求められる力を意識した授業を日常的に行うとともに、計画的な家庭学習や読書活動を奨励していきます。

（２）成果と課題

　話す・聞く

・どの問題においても、全国平均、県平均を上回っていました。目的に応じて、質問を工夫する選択式の問題が、他の問題に比べて正答率が低くなっていました。

　 書　く

・どの問題においても、全国平均、県平均を上回っているものの、目的や意図に応じ、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く記述式の問題の正答率が低くなっていました。事実と感想、意見などとを区別したり、目的や意図に応じて書いたりする活動に力を入れていきます。

　　読　む

・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む問題においては、条件を踏まえて文章で答える記述式の問題では、全国平均、県平均を約８ポイント上回っていました。しかし、選択式の問題は、全国平均を下回るという結果でした。複数の資料を関連付けて、的確に読む力を育む必要があります。

　言語事項

・領域全体で全国平均、県平均を下回る結果でした。特に、学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う問題の正答率が大変低くなっていました。文意に合わせて同音異義の熟語を適切に答えることが難しいようです。また、ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる問題の正答率は、全国平均、県平均ともに下回っていました。誤答だけでなく、無回答も見られたことから問題を解く時間が足りなかったことも考えられます。

（３）　学力向上のための取り組み

**【学校では】**

○他の領域に比べて、言語事項の力を更に育む必要があります。漢字やことわざを文や文章の中で使うよう指導していきます。そのために、三行日記や日々の授業で書く活動を充実させるとともに、語彙を増やすための授業づくりや読書の習慣化に取り組みます。

○目的や意図に応じて読んだり、書いたりできるように、複数の資料を関連付けたり、条件に合わせて文章を書いたりする活動に取り組みます。

**【ご家庭では】**

○夕食の前後など短い時間でも、本を読むように声を掛けてください。さまざまな分野の本を手に取るとともに、読書の習慣を身に付けさせたいと思います。

○お子さんが語句の意味を尋ねた際は、辞書などで一緒に調べていただき、その場で言葉の意味を調べる習慣を身に付けさせるようにしてください。

○お子様との会話の時間をできるだけつくってください。大人との会話を通して、語彙や表現力が身に付きます。

**２　算数**

1. 結　果

全国及び県正答率との比較

　今年度もすべての領域で正答率が全国平均を上回っています。本校では全校で統一した学習過程で授業を行い、基礎的・基本的な学力の定着に努めています。また、「算数タイム」や本校独自の「そろばんタイム」（中学年）などの取組も結果につながっていると考えられます。

　（２）成果と課題

　数と計算

・７問すべての正答率が全国平均を上回っていました。しかし、除法に関して成り立つ性質を言葉を用いて

記述する問題の正答率が大変低く、文や文章で説明する力に課題が見られます。

　　　　量と測定

・正答率が全国平均を上回っていたのは、３問中１問でした。特に、２つの棒グラフから資料の特徴や傾向を読み取り、それらを関連付けて考える問題では、正答率が全国平均を下回りました。複数の資料を関連付けて見たり、単位量あたりで考えたりする力を伸ばす必要があります。また、記述式の問題で条件に合わせて書くことにも課題が見られます。

　　図　形

・２問とも正答率が全国平均を上回っていました。特に2つの台形を組み合わせてできる形を考える問題では、全国平均を約１０ポイント上回っていました。授業で図形を操作する活動を多く取り入れている成果だと考えます。

　数量関係

　・７問中６問の正答率が全国平均を上回っていました。題意に沿って、伴って変わる二つの数量を見出すことに課題が見られます。

（３）　学力向上のための取り組み

**【学校では】**

○課題解決型の学習を継続するとともに、友達とのかかわりを通して、考えを広げたり、深めたりする姿を目指していきます。

○計算などの意味を理解できるように、図、式、言葉を使って表現する活動を重視し、自分の考えを筋道立てて説明できるようにしていきます。

○ＴＴ、少人数授業を充実させ、子どもの実態に応じた指導に努めます。

**【ご家庭では】**

○算数の学習は、これまで学習したことに新たな学習を積み上げていきます。前学年の教科書もいつでも確かめることができる場所に置いてください。つまずいているところをそのままにしないことが大切です。自主学習などで、復習に力を入れる姿をほめてください。

○日常生活の中から計算が必要な場面を見付けて計算したり、身の回りにある図形、時間や時刻など、機会をとらえて、算数の時間に学習したことを使ってみたりするように声掛けをお願いします。

**３　生活習慣や学習習慣に関する調査**

1. 結果

≪生活習慣について≫

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 調　査　項　目 | 本校％ | 全国平均％ |
| 朝食を毎日食べている | ９３．９ | ９５．３ |
| 毎日、同じくらいの時刻に寝ている | ８２．６ | ８１．４ |
| 毎日、同じくらいの時刻に起きている | ８７．０ | ９１．６ |

　　　　　　　　　　　　　≪家庭学習の様子≫

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 調　査　項　目 | 本校％ | 全国平均％ |
| 自分で計画を立てて勉強をしている。（どちらかというとも含む） | ７３．０ | ７１．５ |
| 平日、２時間以上勉強している（学習塾を含む） | ３９．２ | ２９．３ |
| 平日、一日30分以上読書をしている | ３８．３ | ３９．８ |

（２）考察

・朝食を食べる習慣は、身に付いていますが、全国平均を下回りました。全員が朝食をとって、一日元気に過ごしてほしいと思います。

・就寝時刻については、同じくらいの時刻に寝ている児童の割合が全国平均を上回っていますが、起床時刻については、全国平均を下回りました。起床時刻を同じにすることで、生活のリズムが整い、余裕をもって登校することができます。同じ時刻に気持ちよく起床するために、就寝時刻にも気を付け、睡眠時間をしっかりとるしてほしいと思います。

・家庭学習の様子については、「平日、２時間以上勉強している」と回答した児童の割合が、全国平均を約１０ポイント上回りました。「自分で計画を立てて勉強をしている」と回答している児童の割合も比較的高いため、今後は、自主学習や予習、復習などにも進んで取り組んでほしいと思います。

・一日30分以上読書をしている児童の割合は、全国平均を下回りました。高学年においても、自分の時間を見付けて読書ができるよう、低学年から読書の習慣を身に付けてほしいと思います。

（３）改善に向けての取り組み

【学校では】

○毎日、「音読」「漢字」「算数・国語のプリントやドリル」を基本に宿題を出します。自主学習メニュ－を紹介して、自主学習（自学）においても学年や児童の興味・関心に応じた内容に取り組むよう促し、学習内容の定着を図ります。

○「生活がんばり週間」「元気もりもり週間」等、全校の取り組みを通して，生活習慣や読書習慣の向上に努めます。

【ご家庭では】

○「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣を続けていくよう心掛けてください。一日を元気に過ごし、学習の効果を高めるためにも「朝ごはん」はしっかり食べて、登校させるようにお願いします。

○生活リズムを整え睡眠時間を確保するため、テレビ、ゲーム、インターネット等の使用については、ご家庭でルールを設けてください。

【学校では】

○毎日、「音読」「漢字」「算数・国語のプリントやドリル」を基本に宿題を出します。自主学習（自学）においても学年や児童の興味・関心に応じた内容に取り組むよう，自主学習メニューを紹介して定着を図ります。

○「元気もりもり週間」「図書館まつり」等の取り組みを通して、生活習慣や読書習慣の向上に努めます。